NEW

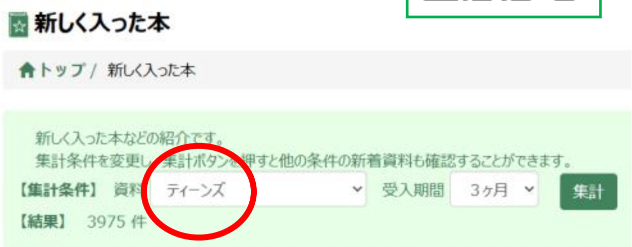
新着図書

図書館HPから
すべての新刊を
チェックできます。

① 図書館HPを開く

② 新着一覧 をクリック

③ 条件を
「ティーンズ」
に絞る



新刊 PICK UP！

ほくほくおいも党

上村裕香／著　小学館　2025.7 （F/カミ）

話がしたいだけなのに、どうしてこんなにも難しいのだろう。
政治活動家自身とその娘、そこに関わる人々を多面的に書いた本作。
ほっこりしたおいしそうなタイトルですが、内容は、親子間でのわかりあえない息苦しさが丁寧に書かれています。

人生にコンセプトを

澤田智洋／著　ちくまプリマー新書　筑摩書房　2025.7（159）

コンセプトと夢はどう違うの？
コンセプトがあったら、人生に何かいいことあるの？
そもそもコンセプトって何なの？
コピーライターの著者が語るコンセプトにまつわるエトセトラは、あなたに新しい視点をくれるかもしれません。

次号
（2025年冬号）
12月１日
発行予定です

連載コラム　本好きさんになろう！

本号のテーマ、「おいしいはなしには、ウラがある？」の中にあなたの心に刺さる本はありましたか？
のぞきこんだ裏側には、人知れず栄えた努力や意図、様々な秘密が養われていました。
でも、そのウラを見つけられたのはすこしのきっかけです。
本を読むことで、きっと、あなたは当たり前の裏側が少し気になる様になったのではないですか？
「ティーンズ・ライブラ」の本の次は、自分でいろんな裏側を見つけてみてくださいね。
それと、コラムに隠したメッセージも味わっていただけたら嬉しいです。
ヒントは最初の一文字目、右から左へ。(③)

編集・発行　小牧市中央図書館

TEENS Libra

ティーンズ　ライブラ　2025年秋号（No.43）

おいしいはなしには、ウラがある？

食欲の秋に隠されたミステリー（？）

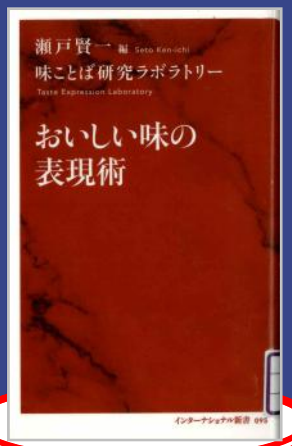
おいしいはなしの裏側、のぞいてみませんか？

M E N U

給食アンサンブル

如月かずさ／著　五十嵐大介／絵　光村図書出版　2018.9（913/ｷｶ）

とある中学校の、あるクラスの物語です。表面的には代り映えのない毎日でも、一人ひとりの心の中では、人と自分を比較して妬んだり、人を疑ったり、自信をなくしたり。毎日、複雑に揺れ動いているものです。そんなクラスのみんなが１日1回顔を合わせる場「給食」を軸に、一人ひとりのエピソードが語られます。「自分と似てるなあ」と共感できる子が登場するかもしれませんよ。



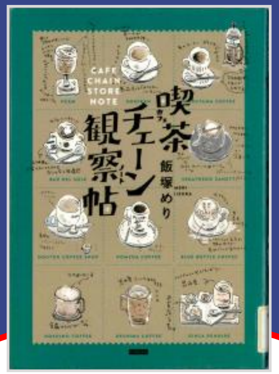
喫茶(カフェ)チェーン観察帖(ノート)

飯塚めり／著　カンゼン　2020.4（596.7/ｲ）

あなたの推し喫茶(カフェ)はどこだ！？

日本に多数ある喫茶店を喫茶店好きの筆者が、可愛らしいイラスト共に解説してくれる、喫茶店巡りの指南書のような本です。

それぞれのお店の雰囲気を人柄で例える描写もあるので、自分や身の回りの人に似ている喫茶店を探すのも楽しいですよ！



うまい棒は、なぜうまいのか？

国民的ロングセラーの秘密

チームうまい棒／著　日本実業出版社　2014.10（588.39/ﾁ）

誰もが知っているお菓子「うまい棒」。パッケージキャラクターたちのフランクな掛け合いによって、ロングセラーの秘密の数々をサクッと知ることができます。本の出版が2014年のため現在までに変化した情報もありますが、企業努力や歴史、活動など、食べるだけでは分からない身近なお菓子の裏側を楽しく学べる内容です。

森のシェフぶたぶた

矢崎存美　／著　光文社　2018.7　（F/ﾔｱ）

森の中から隠れ家のようにあらわれるお店「ル・ミステール」。

1日１組限定の泊まれるレストランとして町でも有名なお店です。

ホテルや旅館のように食事つきの泊まる施設ではなく、泊まる設備があるレストランです。そこに泊まった人にしかわからない「謎」が隠されています。

またシェフも独特の個性を放っており、料理の腕はピカイチ、優しさ溢れる人柄ですが、最初の登場シーンにはきっと度肝を抜かれることは間違いありません。

おいしい味の表現術

瀬戸賢一／編　集英社インターナショナル
集英社（発売）　2022.2（814/ｾ ）

自分が食べた美味しい食事をSNSで投稿する機会が増えた今、「味の表現」に困っていませんか？　言語の専門家が味にまつわる言語を分析し、「おいしさ」を表す比喩やオノマトペの使い方を解説します。おすすめのお店の味、家族が作ってくれた手作りの味、お土産でもらったお菓子の味…SNS投稿だけでなく、何気ない会話の中でも、「食」のおいしさを巧みに伝えてみましょう！

おにぎり読本

なぜ、「ふんわり」、「やわらかい」が流行るのか？

ごはん文化研究会／編　講談社　2023.2（596.3/ｺﾞ）

手軽に作って食べられる「おにぎり」について、文化や歴史、作り方のコツなど、あらゆる角度から紹介するおにぎり本。「コンビニおにぎりの変遷」「ご当地おにぎり」など興味深い記事が盛りだくさん！おなかがすいたら自分でも作ってみたくなるレシピも掲載。

食道楽

村井弦斎／著　村井米子／編訳　中央公論新社　2018.9（F/ﾑｹﾞ）

時は明治、ニワトリ１羽が１円の時代に書かれた大ベストセラー、ユーモアたっぷりのグルメ＆ロマンス小説です。ビーフステーキにマカロニチーズ（グラタン）、りんごのパイなど600以上の多彩な料理が登場し、目次を眺めるだけでお腹が鳴りそう。ヒロイン・お登和（親友の妹つまり一般人）の料理の腕前もすごすぎる…。食を通じて健康や暮らしの知恵も学べるのもこのお話の魅力です。

博物館・明治村では、物語に登場するカレーの再現レシピが実際に味わえますよ。

和菓子のアン

坂木司／著　光文社　2010.4（F/ｻﾂ）

人も和菓子も見た目によらない、そんな和菓子屋さんでの日々。

夢もない。やりたい事もない。ないない尽くしだったアンちゃんこと梅本杏子の日常が、和菓子と謎によって色付き始める、おいしく不思議でおもしろいけど、ほろっときてしまう物語です。

おいしいはなしには、ウラがある？

本の予約ができるおすすめブックリスト

紹介作品(50音順)

- ■うまい棒は、なぜうまいのか？
- ■おいしい味の表現術
- ■おにぎり読本
- ■喫茶(カフェ)チェーン観察帖(ノート)
- ■給食アンサンブル
- ■食道楽
- ■人生にコンセプトを
- ■ほくほくおいも党
- ■森のシェフぶたぶた
- ■和菓子のアン

2025 秋